

## 公共下水道事業経営戦略 主な改定事項

| 頁   | 見出し  | 改定事項                              | 改定後   |
|-----|--|-----------------------------------|---|
| 1   | 1.事業概要 (1)事業の現況 ①施設  | 供用開始年度<br>(供用開始後年数)               | (改定前)18年 (改定後)21年   |
|     |  | 処理区域内人口密度                         | (改定前)25.9人/ha (改定後)24.0人/ha   |
| 3   | 1.事業概要 (3)経営比較分析表を活用した現状分析   | 経営比較分析表                           | 令和4年度の経営比較分析表の内容へ更新した。  |
| 3   | 2.将来の事業環境 (1)処理区域内の人口予測  |                                   | 処理区域内の人口推計値のグラフ、人口の予測を追加した。   |
| 4   | 2.将来の事業環境 (2)有収水量の予測   |                                   | 有収水量推計値のグラフ、有収水量の予測を追加した。   |
| 4   | 2.将来の事業環境 (3)使用料収入の見通し   |                                   | 使用料収入推移のグラフ、使用料収入の見通しを追加した。   |
| 5   | 2.将来の事業環境 (4)施設の見通し  |                                   | 施設の見通しを追加した。  |
| 5   | 3.経営の基本方針  | 経費回収率の向上に<br>向けたロードマップ            | 経費回収率の向上の実績値、目標値、向上のための取組を追加した。   |
| 6   | 4.投資・財政計画(収支計画)<br>(2)投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明<br>①収支計画のうち投資についての説明                | 投資の目標に関する<br>事項                   | 未整備管渠工事計画<br>(改定前)令和5年度完成<br>(改定後)令和7年度完成   |
|     |  | 投資の目標に関する<br>事項                   | 法定耐用年数を超過する設備の修繕・更新を進めるこ<br>とを追記。   |
|     |  | 管渠工事予定<br>管渠、処理場等の建<br>設・更新に関する事項 | 管渠工事予定<br>(改定前)令和5年度まで<br>(改定後)令和7年度まで<br>・令和7年度からストックマネジメント計画に基づき処理場<br>設備の修繕、更新を進めることを追記。   |
| 6   | 4.投資・財政計画(収支計画)<br>(2)投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明<br>②収支計画のうち財源についての説明                | 財源の目標に関する<br>事項                   | ・国庫補助金収入<br>(改定前)令和7年度まで計画<br>(改定後)計画<br>・企業債<br>(改定前)令和7年度まで令和8年度以降は資本費平準<br>化債の借入のみ<br>(改定後)計画<br>・企業債の借入額を、借入年度の償還元金を上限とする<br>ことを目指し、借入金残高の縮減を図ることを追記。 |
|     |  | 使用料収入の見通<br>し、使用料の見直しに<br>に関する事項  | ・人口減少に伴い、使用料収入の伸び率が小さくなると<br>予測していること、料金改定時期を検討することを追記。<br>・公共下水道事業整備完了予定年度の変更に伴い助成<br>期間を延長。<br>(改定前)期間の延長を検討<br>(改定後)令和10年度まで延長                         |
| 6～7 | 4.投資・財政計画(収支計画)<br>(2)投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明<br>③収支計画のうち投資以外の経費についての説明           | 経費算定基準予算年<br>度                    | (改定前)令和4年度予算ベース<br>(改定後)令和6年度予算ベース<br>(改定前)毎年汚水処理量の増加による経費増を見込んで算出<br>(改定後)毎年汚水処理量の増加や物価上昇による経費<br>増を見込んで算出   |
| 7   | 4.投資・財政計画(収支計画)<br>(3)投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予<br>定の取組の概要<br>①今後の投資についての考え方・検討状況 | 投資の平準化に關す<br>る事項                  | ストックマネジメント計画に基づき、投資を平準化していく<br>ことを追記。   |

## 公共下水道事業経営戦略 主な改定事項

| 頁   | 見出し  | 改定事項          | 改定後   |
|-----|--|---------------|---|
| 7   | 4.投資・財政計画(収支計画)<br>(3)投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要<br>②今後の財源についての考え方・検討状況 | 使用料の見直しに関する事項 | ・料金改定を具体的に検討する際には、経営の健全性・効率性の現状と将来予測より、適正な料金検討を行うことを追記。   |
| 7～8 | 4.投資・財政計画(収支計画)<br>(3)投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要<br>③投資以外の経費の考え方・検討状況   | 修繕費に関する事項     | (改定前)修繕計画に基づき<br>(改定後)ストックマネジメント計画に基づき  |
| 別紙2 | 経営比較分析表  |               | 令和4年度の経営比較分析表へ更新した。   |
| 別紙3 | 投資・財政計画(収支計画)  |               | <p>・R3～R5を実績値へ変更。<br/>・実績値を基にR6～R8の推移を更新した。</p> <p><b>【投資】</b><br/>ストックマネジメント計画に基づき、計画値を見直した。</p> <p><b>【料金収入】</b><br/>改定前の計画値と実績値を比較すると、実績値は計画値よりも上回っていた。今後の接続促進等による収入増加を考慮し増加すると計画した。</p> <p><b>【経費】</b><br/>令和5年度より職員給与の予算措置人員を見直し、職員給与費が減少したが、今後的人件費上昇により増加すると計画した。<br/>経費は、改定前の計画値と実績値を比較すると、実績値は計画値よりもおおむね下回っており、費用は抑えられている状況であった。今後の汚水量の増加や施設の経年劣化、物価高騰を見込み経費が増加すると計画した。</p> |